

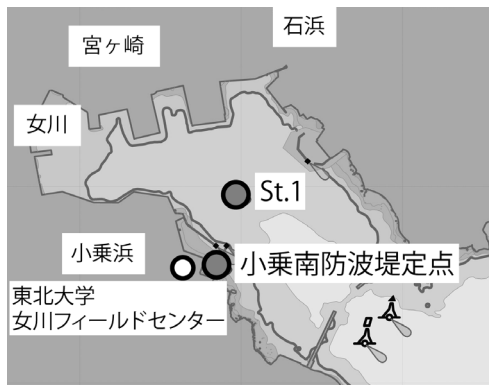
## 週刊 女川湾海況速報 (No.67)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

11月5日から8日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

## 観測点



## 小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して全層で水温は下降したが、塩分は上昇。経時的に水温は6日と8日に全層で16℃台まで下降。塩分については6日に全層で下降し、それ以外の期間は33.3～33.4で推移。鉛直的には、先週に引き続き、期間通じて水温逆転を維持。6日の水温と塩分の下降は気温低下と外洋水の侵入の影響と推定。水温逆転については海面冷却の影響と推定。

水深 [m]	11月5日 (火)	11月6日 (水)	11月7日 (木)	11月8日 (金)
0	17.5 (33.3)	16.3 (32.4)	17.4 (33.4)	16.7 (33.4)
6	17.6 (33.4)	16.9 (32.8)	17.4 (33.4)	16.7 (33.4)

水温の単位は℃。\*6日と7日は水深5mのデータを使用。

②濁度：先週と比較して全層で上昇。経時的には表層(0m)で6～8日にかけて上昇。底層(6m)では6日と8日に一旦上昇し、2.1FTU以上を示した。(単位はFTU)

水深 [m]	11月5日 (火)	11月6日 (水)	11月7日 (木)	11月8日 (金)
0	0.8	0.4	0.6	1.6
6	1.1	3.9	1.4	2.1

③溶存酸素：先週と比較して全層で下降したが、6～7mg/l台を維持。経時的に全層で6日と8日に一旦上昇。特に6日の上昇が顕著で、全層で7.8～7.9mg/lの比較的高い値を示した。

水深 [m]	11月5日 (火)	11月6日 (水)	11月7日 (木)	11月8日 (金)
0	6.6	7.9	6.2	6.9
6	6.5	7.8	6.0	7.0

単位はmg/l。水産用水基準(水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値)：4.3mg/l以上。

## St.1の結果

水温、塩分はそれぞれ15.9～17.5℃、32.0～33.4の範囲にあった。濁度は0.5～2.6FTUの範囲にあり、底層(20m)で最大。溶存酸素は6.0～7.9mg/lの範囲にあり、水深15m付近で最小。先週と比較して、表層及び水深10m以深で酸素飽和度が下降。水深15m付近では77%を示した。

11月6日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	15.9	32.0	0.5	7.8
5	16.9	32.9	0.5	7.9
10	17.5	33.4	1.3	6.5
15	17.3	33.4	1.6	6.0
20	17.1	33.4	2.6	6.4

本データの利用については、東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

[agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp](mailto:agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp)

までお問い合わせください。